



公務員という職種はない?!



先日 NHK のニュース番組の中で「公務員改革! “公務員になりたい人”は いるない」という話題を紹介していました。佐賀県職員の採用に関して、「公務員になりたいのではなく、佐賀県職員として何がしたいのか。明確なビジョンを持ったプロ意識のある人を採用したい」というものでした。

“公務員”のイメージと言えば、「公正公平」「まじめ」「手堅い」「安定志向」などでしょうか。景気が良くない時代は、その影響を大きく受けない“公務員”という職業が人気になるといわれています。

私は長年西高に勤務していますが、西高の卒業生が公務員になったという話をよく聞きます。西高生は基礎学力があり、大学受験でもしっかりと勉強していますから、地方公務員試験のような一般教養や法律問題を問う試験は比較的得意なのでしょう。皆さんの中でも将来“公務員”と考えている人はそれなりにいると思います。

皆さんが社会人として働き始めるのは、(大学進学をする場合)早くても6年以上先になります。この6年間でこういった公務員の意識改革は全国に広がっていくように思います。公務員であっても専門知識を備え、プロ意識を持った人材の採用が増えていくでしょう。実際、今の公務員採用試験の面接でも「この仕事に就いて、あなたは何をしたいの?」と問われることは多いようです。一般企業ではそれが更に顕著です。

そんな時代の要求に対して、君たちは何を目的に職業に就くのでしょうか。先日の講演会でお話いただいた文部科学省に勤務する古屋桃香さんのお話からは「日本の教育を良くしたい!」という強い志を感じました。今の皆さんは自分のやりたいことがまだ定まらず、来年度の文理選択でさえ悩んでいる人が多いと聞きました。将来自分が何をやりたいのか、自分が何に向いているのか、自分の進路をどのように決めていくか、真剣に考える時期が来ています。

西高に入学して3か月が経ちましたが、日々の生活を送ることに忙しく、将来について深く考えることが先送りになっている人は少なくないでしょう。明日から1か月間の夏休みとなり、普段より時間的な余裕があると思います。これまでの自分の足跡を振り返り、この機会に自分の可能性と視野を広げるチャレンジをしてみてください。

1 年次主任 平岩岳実

保護者のみなさまへ

西高一年目の夏休みを迎えます。【家庭でご注意いただきたいこと】

保護者の皆様には暑期中、懇談のためにご来校いただき、ありがとうございました。お子様の家庭での様子や進路への展望などを伺うことができました。今後も保護者の皆様と協力しながら、生徒一人ひとりの進路実現のために取り組んでいきたいと思っています。

(1)規則正しい生活・学習リズムを維持させてください。

充実した学習の基本は生活・学習リズムを崩さないことが大切です。学校がある時と同じ生活リズムで過ごせるようご協力をお願いします。

(2)子どもたちを励まし、元気づけ、前向きに進んでいきましょう。

西高に入学してから3か月間はお子さんにとって心身共に相当なエネルギーを使ったと思います。この夏休みを使ってご家庭においてもリフレッシュや学習におきましても励ましのサポートしていただきたいと思います。

(3)夏季休業中の事故防止や安全確保についてお願いします。

いろいろなことが影響して、小さいことが思わぬトラブルに発展するケースがあります。SNSの使用については学校でも指導しておりますが、夏休み中は御家庭でも注意をお願いします。また予備校や塾などで夜遅くなるときのなど、帰宅までの安全・防犯にも御留意ください。



夏休み中の学校活動についても、これまで通り感染対策を徹底して参ります。ご家庭でも感染予防に十分ご注意ください。よろしくお願いいたします。

～8月行事予定～

日	曜日	A/B	予 定	日	曜日	A/B	予 定
1	日			16	月		
2	月			17	火		
3	火			18	水		夏季集中学習会(午前中:課外)
4	水			19	木		夏季集中学習会(午前中:課外)
5	木			20	金		夏季集中学習会(午前中:課外)
6	金			21	土		第2回全統高1模試
7	土			22	日		
8	日		山の日	23	月		夏季休業最終日
9	月		振替休日 消防設備点検	24	火	行	休業明け集会 LHR 大掃除
10	火			25	水	行	学力テスト 第2回進路希望調査
11	水			26	木	行	学力テスト
12	木		変電所内清掃作業	27	金	B	
13	金		学校閉庁日(～15日)	28	土		オープンスクール
14	土		北館床清掃作業	29	日		
15	日		受水槽点検	30	月	A	
				31	火	A	

「鳳凰祭を振り返って」座談会を開きました！（7月6日放課後）

座談会参加者

1-1 中込結唯さん 1-2 大川千尋さん
 1-3 田村京太郎さん 見代遥花さん
 1-4 井上汰珠さん 武井アンリさん 1-5 村松杏美さん

平岩：一年次対抗を振り返ってください。

村松：手作り楽器で演奏とか「マジか」と思ったけど、どのクラスもちゃんと音楽になっていたし、いい発表ができたかな。

井上：部活動とかあってなかなか揃わなかったけど、アンリさんがまとめてくれて良かった。

武井：土曜日のリハーサルとか他のクラスは全員集まっているのに全然集まらなくて、ホントどうしようと思ったけど…。前日にダンス覚えたもんね。

中込：手作り楽器演奏なんて出来ると思わなかったけど、同じブロックの先輩方がすごく手伝ってくださって本番はみんなでいい演奏が作れて良かったです！

大川：本番当日のリハーサルの時間が削られたのは痛かった！

平岩：それでも形にしてしまう西高生の能力の高さが素晴らしい！

平岩：2日間の鳳凰祭で印象に残っていることは？

井上：初日は時間が押しちゃって、プロ長さん達が苦労していたのが印象に残りました。

田村：クイズ大会が中止になったこと。だけど、プロ長さんがみんなを盛り上げていたところが格好いいなと思いました。

見代：ダンス部なんですけど、先輩が本番前にみんなに手紙配ってくれて、西高の先輩って憧れるし、みんないい先輩ばかりだなんて感じました。

武井：西高生の団結力がすごかったです。プロ長さんが「拍手で盛り上がろう！」って言えば、それができる。裏方の人達がすごく大変そうに動いてい

るのを見て、そのお陰でこの鳳凰祭が成り立っているって感じた。裏方の人が大変って分かっているから、2・3年生は言われたことがちゃんとできると感じました。

中込：年次発表のクオリティの高さもすごいけど、幕間のクオリティもすごく高かったのに驚きました。こんな細かいところまですごいんだなって感じました。

大川：文化部のクオリティもイメージよりすごかった。ダンス部なんてよくあんなに長く踊れるなあ。一年次対抗で来てない人もいたけど、文化部の方で頑張っている人もいるから、練習に来ていなくてもいろんなところでみんなが頑張っているって想像力も大事なかな。

村松：今年の声を出せない状況で盛り上がり切れない部分はあったけど、みんなでペンライトを振っている姿が印象的でした。注意されたところはあったけど、プロ長さんが出てからは統制が取れていたと思います。

平岩：来年度に向けて何かありますか。

大川：ブロックアイテムを注文する時に、タオルとかの見本があるといいかな。

井上：来年度はもう少し自由に活動できると思うけど、企画を中止にしないよう周到な準備が必要かな。

村松：客席で声を出すようなルールを守っていないのは1年生が多かったように見えました。学園祭を成功させるっていう意識をもっと高めたいと思いました。

武井：執行部は1年間かけて次の鳳凰祭の準備をしているけど、今年みたいなアクシデントもある。これからもそういったことはあると思うので、来年2年生になった時、3年生と協力して何事にも臨機応変に対応することを1年生にも繋げたいです。

西高は勉強だけじゃない！部活動も学園祭もみんなで頑張って、みんなで楽しめる学校です！